

危険な特定外来生物であるヒアリが5月に神戸港揚げのコンテナから発見され、その後愛知県や大阪府、東京都でも相次いで生息が確認されました。ヒアリは赤茶色で体長2~6mm、公園や農耕地などに営巣するとされ、極めて攻撃的で小型哺乳類をも集団で攻撃し、捕食することで知られています。今号のマリントピックスでは、神戸で発見されたヒアリの入っていたコンテナの発送地である中国広州でのヒアリ情報や一般的な害虫混入の対策についてご紹介いたします。

### 1. 日本での初の確認例

今年5月に神戸港で荷揚げされたコンテナを尼崎市で確認したところコンテナ内にヒアリが発見されました。神戸市は6月、当該コンテナが保管されていた神戸市ポートアイランドのコンテナヤードを調査し、約100匹のヒアリの生息を確認し、殺虫剤により全て駆除したと発表しています。

その後愛知県、大阪府でも生息が確認され、7月3日には東京都の大井ふ頭のコンテナ内でも確認がされました。当該コンテナは燻蒸済みで、駆除が完了したとされています。環境省の最新の発表によると、大井ふ頭でのヒアリ発見後、7月に東京港においてヒアリの調査をしたところ、ヒアリは確認されませんでした。ヒアリと外見が似ており毒性を持つ特定外来生物であるアカカミアリ1,000匹以上がコンテナヤードの亀裂に確認され、こちらは現在撲滅に向けて殺虫剤を多数設置しているとのことです。



今月、罌によるヒアリなどの捕獲を確認する

四日市港管理組合職員

(写真: 読売新聞/アフロ)

## 2. 中国南沙港の周辺環境

尼崎市で発見された、ヒアリが混入していたコンテナは、5月中旬に中国広東省広州市の南沙港から神戸に向けて出荷されました。弊社クレーム代理店 Huatai Surveyors & Adjusters Company によれば、ヒアリは南沙港付近だけでなく広東省全体に広く生息しており、広州市南沙区の西側に位置する万頃沙鎮地域に多数ある農場エリアを主な生息地としているそうです。南沙港は当該農場地に囲まれるように位置するため、ヒアリの活動域が南沙港に及ぶことは容易に考えられます。また、この港から出荷される園芸品や植物などのコンテナがあり、それらの製品に付着していたりすることもあるとのことでした。

現地ではヒアリは従来から存在が知られ珍しくないため、発見されればその場で殺虫するが、完全な撲滅は難しいというのが実際のところのようです。



南沙港周辺のヒアリ生息地(地図: Google Map)

## 3. 一般的な害虫侵入防止の対策

ヒアリを含む蟻や害虫等のコンテナ侵入防止対策としては、下記の方法が考えられます。いずれもバンニング時に対策をとる必要がある点にご留意ください。

- ① コンテナ内への侵入経路を塞ぐ。バンニング前に点検者がコンテナ内に入り扉を閉め、隙間光をチェックする。錆によるピンホールや扉ゴムの劣化による隙間、釘穴、ベンチレーションなどをガムテープで塞ぐ。
- ② バンニング前に貨物を仮置きする場所やコンテナ内に蟻や害虫がいないよう清掃を行う。
- ③ コンテナヤードに貨物を長期保管しない。
- ④ 貨物が食品や植物である場合、製品特性を十分考慮し、毒性、着臭、残留性がない殺虫剤や忌避剤を使用し、コンテナの床材を念入りに消毒する。
- ⑤ 物流資材や梱包資材に害虫が付着することを想定し、物流資材の衛生管理を徹底する。

ヒアリ等の虫付着、混入に関する補償のご相談については、お手数ですが弊社営業担当までご連絡下さい。



本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。

船舶・貨物・運送の保険の情報サイト「マリンサイト」

[http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/hojin/marine\\_site/index2.html](http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/hojin/marine_site/index2.html)